チェックシートアプリ for Android

取扱説明書

更新日: 2014/09/19

お断りなく仕様変更する場合があります。

SYSTEM INTEGRATION FOR MANUFACTURING
エヌシー 株式会社

TEL (053)449−0159
FAX (053)448−9165
E−Mail nc@ncsys.co.jp
URL http://www.ncsys.co.jp/

利点

生産現場では、品質管理、安全確認、設備点検、衛生管理等のためにチェックシートを記入していると思いますが、従来の紙のシートから、電子化し、ネットワーク化すると次のような利点があります。

- シートの紛失がなくなる。
- 紙シートのように汚れ付着や不鮮明な文字により、後で読めなくなることがない。
- 紙シートのようにかさばることがない。
- 直接タブレットで入力するので、紙のシートから転写する際のミスや、手間がなくなる。
- エクセルでテンプレートを作成するので、リストから選択ができ、入力が楽チン。
- エクセルでテンプレートを作成するので、自由なレイアウト・デザインにでき、見易い。
- 自動的にファイル名に日時が追加されるのでチェックした日時が信用できる。
- シートを変更するとファイル名に日時が追加されるので後からのシート改ざんが防げる。
- 離れた場所からの閲覧や管理が可能。
- みんなで記録を共有できる。
- 指定日時の記録の追跡がしやすくなる。
- 報告書の作成もスムーズになる。

主な機能

ftp サーバーに置いてあるチェックシートテンプレートを元に新規チェックシートファイルを作成。
チェックシートファイル名には、自動的に日時が追加されます。

作成したチェックシートは、外部アプリを使用して編集することができます。
外部アプリには、WPS Office(Kingsoft Office Android) を想定。

チェックシート編集後は、ftp サーバーへアップロードができます。

ftp サーバーに保存した既存のチェックシートを元にチェックシートを作成することも可能です。

ftp サーバーのテンプレートディレクトリ、アップロード先ディレクトリは、登録できますので、選択の度に、ディレクトリを指定する必要は、ありません。

テンプレートは、エクセル(.xls)を使用して、ユーザーによる自由なレイアウト、入力規則が定義できます。

ftp サーバーに保管したチェックシートは、インターネット経由し、スマートフォン・タブレット・PC 等で閲覧できるようにすることも可能です。
(Android 端末の場合は、ES ファイルエクスプローラが便利です。)

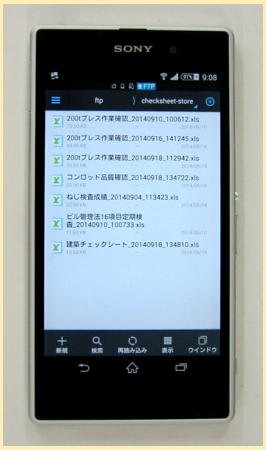
システム構成

工場事務所（海外）



FTP サーバー
（Windows 標準の IIS）
テンプレート（エクセル）
チェックシートを記録保存

スマフォ／タブレット／PC（国内）



FTP サーバーへ記録したチェック
シートを外部から閲覧

社内 LAN（ WiFi 接続 ）

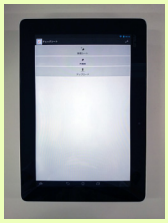


インターネット

工場（海外）



・・・・
複数台
タブレット





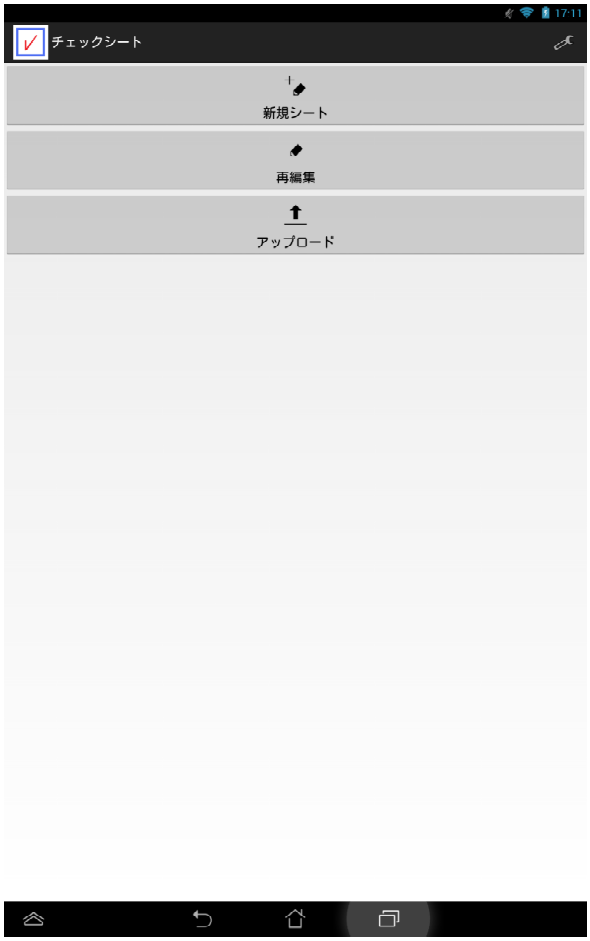


FTP サーバーのチェックシートのテンプレート（エクセル）を元
に、チェックシートを作成。
（自動的にファイル名に日時が追加されます。）
記入後、FTP サーバーへアップロードし保管。



Kingsoft Office を想定
エクセル形式なので自
由なレイアウト・入力
規則が設定可能。

メイン画面



新規シート	ftp サーバーのテンプレートを元に新規にチェックシートを作成します。ファイル名に日時が追加され、編集します。編集後は、アップロードすることができます。
再編集	ftp サーバーに保存してある過去のチェックシートを元にファイルが作成され、ファイル名に現在日時を追加され、編集します。編集後は、アップロードすることができます。
アップロード	ネットワークの状態が、悪くアップロードに失敗した場合に、再度、アップロードを試すことができます。 アップロードが成功した場合は、ローカルファイルは、破棄されます。 ローカルファイルが無い場合は、アップロードは、できません。
ツールのアイコンボタン	設定画面が表示されます。

設定画面



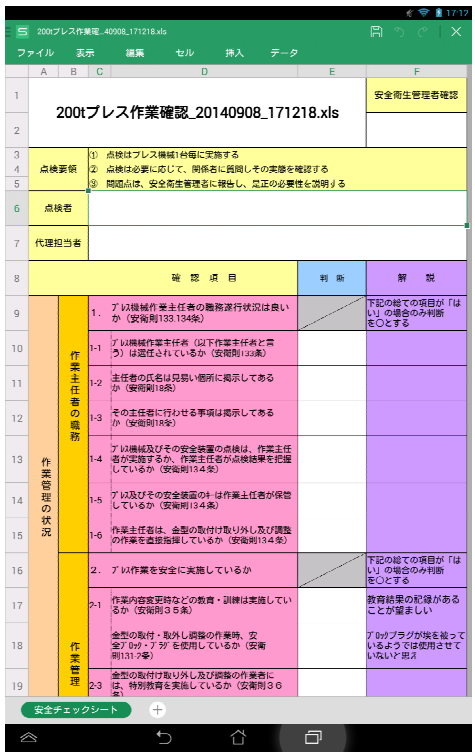
・サーバー
ftp サーバーの IP アドレスを入力します。
・ポート
ftp サーバーのポート番号を入力します。
例: 21
・ユーザー
ftp サーバーへのログイン時のユーザー名を入力します。
例: anonymous (匿名の場合)
・パスワード
ftp サーバーへのログイン時のパスワードを入力します。
・パッシブモード
ftp サーバーへの接続モードの指定です。
アクティブモードでは、クライアントから制御用ポートを使って FTP 要求がくると、サーバー側からデータ転送ポートに接続しようとする。この場合、クライン後側のファイヤーウォールによって FTP 接続できないことがある。パッシブモードの場合は、クライアントの方からサーバーにデータ転送の開始を要求するため、クライアント側のファイヤーウォールによって通信が拒絶されることなく FTP を行うことができます。
・文字コード
Windows　IIS の FTP サーバーは、Shift-JIS、
UNIX 系のサーバーは、UTF8 が多くなっています。
ファイル名が文字化けする時は、合わせてください。
・テンプレートディレクトリ
チェックシートのテンプレートが置いてある ftp サーバー上のディレクトリを指定します。
最後に/が必要です。
例: /ftp/checksheet-template/
・アップロード先ディレクトリ
チェックシートのアップロード先ディレクトリを指定します。再編集時は、こちらのディレクトリにあるファイルを元にチェックシートを作成します。
最後に/が必要です。
例: /ftp/checksheet-store/
・作業用ローカルディレクトリ
チェックシートのテンプレートをどこのローカルディレクトリにダウンロードするかを指定します。
このディレクトリの内容は、作業用で一時的なものです。アップロードが成功すると削除されます。
ディレクトリは、ES ファイルエスプローラーなどで作成してください。
例: /Download/work/

テンプレートの選択

メイン画面で[新規シート]のボタンを押すと ftp サーバーのテンプレートを元にして新規シートを作成します。
ディレクトリ一覧から選択できます。
ファイル名には、日付が追加されます。



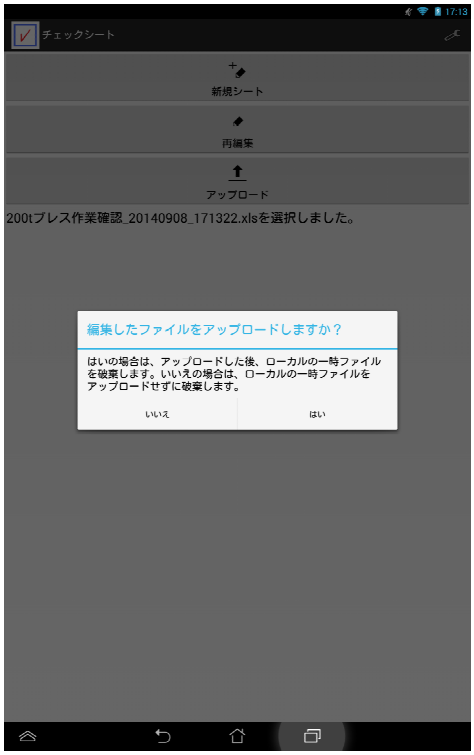
テンプレートの選択後、テンプレートを元に作成されたローカルファイルを WPS Office (Kingsoft Office)で開いた画面です。
WPS Office 編集後は、上書き保存してください。



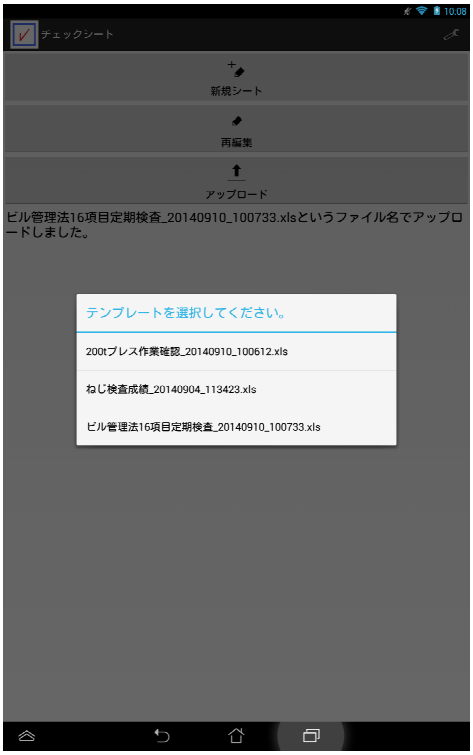
テンプレート選択後にアプリケーション選択ダイアログが表示される場合は、アプリケーションを選択後に[常時]ボタンを押すと、次回以降、アプリケーション選択ダイアログが毎回表示されなくなります。



WPS Office で編集したシートは、ローカルディレクトリに保存されているだけです。ftp サーバーへアップロードするときは、編集から戻った時に表示される次のダイアログで[はい]を選択してください。
[いいえ]を選択すると編集したローカルファイルは、破棄されます。



メイン画面で[再編集]ボタンを押した場合は、ftp サーバーへ保存してある既存のチェックシートファイルを元にファイルを作成します。
改ざんを防ぐため、ファイル名に日付を追加します。
その後の処理は、[新規シート]と同様です。



IIS FTP サーバー構築方法（参考）

Windows Vista, Windows7,　Windows8 には、IIS FTP サーバーの機能を追加することができます。

FTP をインストールするには

1.[スタート] 画面で、「コントロール パネル」と入力し、検索結果で [コントロール パネル] アイコンをクリックします。

2.[プログラム] をクリックし、[Windows の機能の有効化または無効化] をクリックします。

3.[Windows の機能] ダイアログ ボックスで、[インターネット インフォメーション サービス] ノードを展開します。

4.[FTP サーバー] ノードを展開します。

5.[FTP サーバー] チェック ボックスと [FTP サービス] チェック ボックスをオンにし、[OK] をクリックします。

FTP サイトを追加するには

1.IIS マネージャーを開きます。

2.[接続] ウィンドウで、サーバー ノードを展開し、[サイト] ノードをクリックします。

3.[操作] ウィンドウで、[FTP サイトの追加] をクリックして FTP サイトの追加ウィザードを開きます。

4.[サイト情報] ページの [FTP サイト名] ボックスに、FTP サイトの一意のフレンドリ名を入力します。

5.[物理パス] ボックスで、コンテンツ ディレクトリの物理パスを入力するか、参照ボタン ([...]) をクリックしてその物理パスを探します。

6.[次へ] をクリックして、[バインドと SSL の設定] ページを開きます。

7.[バインド] の [IP アドレス] の一覧で、[未使用の IP アドレスすべて] のままにしたくない場合は、IP アドレスを選択または入力します。

8.[ポート] ボックスにポート番号を入力します。

9.1 つの IP アドレスで複数の FTP サイトをホストする場合は、[仮想ホスト] ボックスにホスト名を入力します。たとえば、「www.contoso.com」などと入力します。

10.サイトを手動で開始する場合は、[FTP サイトを自動的に開始する] ボックスをオフにします。

11.[SSL] の [SSL 証明書] の一覧から、証明書を選択します。必要に応じて、[表示] をクリックして [証明書] ダイアログ ボックスを開き、選択した証明書に関する情報を確認します。

12.次のオプションのいずれかを選択します。
◦SSL を許可: クライアントとの非 SSL 接続および SSL 接続の両方を FTP サーバーがサポートできるようにします。
◦SSL が必要: FTP サーバーとクライアントの間の通信で SSL 暗号化を必須にします。

13.[次へ] をクリックして、[認証および承認の情報] ページを開きます。

14.[認証] で、使用する認証方法 (1 つまたは複数) を選択します。
◦匿名: ユーザー名として anonymous または ftp を指定するだけで任意のユーザーがコンテンツにアクセスできるようにします (ほとんどの (すべてではありません) FTP クライアントでユーザー名が自動的に入力されます)。

◦基本: ユーザーがコンテンツにアクセスするには、有効なユーザー名とパスワードの入力が必要になります。基本認証では暗号化されていないパスワードがネットワーク経由で送信されるので、クライアントと FTP サーバーの間の接続が SSL (Secure Sockets Layer) を使用した場合などのようにセキュリティで保護されていることがわかっている場合にのみ、この認証方法を使用してください。

15.[承認] の [アクセスを許可] ボックスの一覧から、次のいずれかのオプションを選択します。
◦[すべてのユーザー]: 匿名か識別されているかどうかに関係なく、すべてのユーザーがコンテンツにアクセスできます。

◦[匿名ユーザー]: 匿名ユーザーがコンテンツにアクセスできます。

◦[役割またはユーザー グループの指定]: 特定の役割またはユーザー グループのメンバーだけがコンテンツにアクセスできます。対応するボックスに役割またはユーザー グループを入力します。

◦[指定されたユーザー]: 指定したユーザーだけがコンテンツにアクセスできます。ユーザー名を対応するボックスに入力します。

16.[アクセスを許可] の一覧でオプションを選択した場合は、次のどちらか一方または両方のアクセス許可を選択します。
◦読み取り: 承認されたユーザーにディレクトリからのコンテンツの読み取りを許可します。

◦書き込み: 承認されたユーザーにディレクトリへの書き込みを許可します。

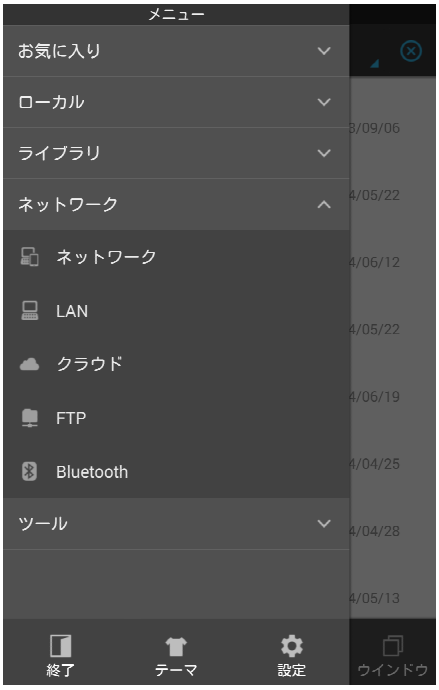
17.[完了] をクリックします。

http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/hh831655.aspx#Step2

Android 端末で FTP サーバーのサイトを閲覧する方法（参考）

FTP サーバーが LAN 上にあり、Windows IIS の FTP サーバーで匿名ユーザーを許可しており、暗号化なし、21 番ポートの場合を想定しています。
Android 端末は、同じ LAN に無線接続されている場合です。

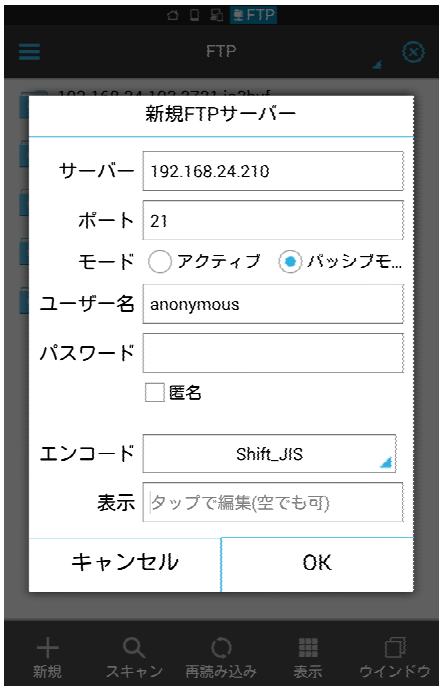
使用するアプリは、ES ファイルエクスプローラーです。
まず、左サイドからフリックしてメニューを開き、[ネットワーク] > [FTP]を押します。



次に、左下の[＋ 新規]を押します。
新規のダイアログから[ftp]を選択します。



今回は、FTP サーバーが LAN 上にあり、Windows IIS の FTP サーバーで匿名ユーザーを許可しており、暗号化なし、21 番ポートの場合を想定していますので、新規 FTP サーバーのダイアログでは、次のように設定してください。



サーバー	FTP サーバーのローカル IP アドレス
ポート	FTP サーバーで設定したポート番号
モード	パッシブモードを選択
ユーザー名	anonymous としてください。
パスワード	設定不要
匿名	チェックは不要
エンコード	Windows 7 では、Shift-JIS でファイル名や、フォルダ名が指定されるようです。
表示	空でも可ですが、わかりやすい名前をつけましょう。